

## 第16回ワシントン条約締約国会議 in バンコク(タイ)

3月3日～14日、ワシントン条約の会議が開かれます。

3月3日～14日、第16回ワシントン条約締約国会議がタイのバンコクで開催されます。トラフィック イーストアジア ジャパンは、締約国会議に向けて数回のシリーズでワシントン条約関連情報を各マスメディア関係者の方々に配信することにしました。会議に関する正確な情報の入手や取材にお役立てください。また、ご不明な点や詳細に関してはトラフィックまでお問い合わせください。

## 会議で何が決まるのか？

必ずとりあげられる議題のひとつに**附属書**の改正提案というものがあります。ワシントン条約の締約国会議では、実際に**国際取引を禁止や規制**の対象にする動植物が決められます。その結果によって、輸出入や海外から持ち込む際にこれまで自由であった動物や植物の製品も許可が必要となったり、まったく輸出入ができなくなったりします。



附属書Ⅰ



附属書Ⅱ



附属書Ⅲ

## 附属書改正の行方を考えてみませんか。

国際取引の禁止や規制のランクを決める附属書ですが、会議のたびに、必要に応じて改正について議論されます。新たに規制の対象とするものや、規制を緩くするものなど、会議全体のなかでも大きな議題となっています。

↓ ウェブサイトで公開中。

## ●「附属書改正提案の分析」

各提案に関し、トラフィックが取引や利用について、IUCN（国際自然保護連合）が生物学的な情報や生息状況について情報を集め、この分析結果にまとめています。

## ●「トラフィックの見解」

トラフィックは、総合的また客観的に分析結果を検討し、それらに対する見解をまとめ公開しています。各提案に対し、支持あるいは不支持を理由とともに述べています。

提案を考慮する際にどこかポイントとなるかが整理されており、内容を具体的に検討するのに役立つ資料となります。



締約国が提案を判断する際の参考として利用されます。

## 附属書改正が提案されている動植物 ★日本の固有種が附属書掲載提案にあがっています。

各国より70の附属書改正提案が提出されています。（以下抜粋）

## ▲附属書Ⅰへの掲載が検討されます。

ホッキョクグマ、アフリカマナティ、ビルマホシガメ、ノコギリエイ など  
全9提案（すべて附属書Ⅱ→附属書Ⅰ）

## ▲附属書Ⅱへの掲載が検討されます。

オニイトマキエイ属全種（掲載なし→附属書Ⅱ）  
シュモクザメ類、ヨゴレ、ニシネズミザメ（掲載なし→注釈付で附属書Ⅱ）  
リュウキュウヤマガメ ★**日本政府が提案！**★（掲載なし→条件付で附属書Ⅱ）  
多数のイシガメ科/スッポン科のカメ（掲載なし→附属書Ⅱ）  
多数のマダガスカル植物種（掲載なし→附属書Ⅱ） など

## ▼規制を緩くする提案が出ています。（ダウンリスティング）

ヴィクーニャ（附属書Ⅰ→一部を附属書Ⅱ）  
数種のキジ科の鳥（附属書Ⅰ→Ⅱまたは掲載なし）  
アメリカワニ（附属書Ⅰ→一部を附属書Ⅱ）  
イリエワニ（附属書Ⅰ→条件付きで附属書Ⅱ）  
オーストラリアの哺乳類6種（附属書Ⅰ→掲載なし）  
オーストラリアの両生類2種（附属書Ⅱ→掲載なし） など

※附属書改正提案は学名で記載されています。和名はトラフィック調べによる。

©Flickr Creative Commons



©トラフィックイーストアジアジャパン



©Flickr Creative Commons



詳しくはウェブで！

CoP16 特集ページ→ <http://www.trafficj.org/cop16/>

関連ウェブサイト

トラフィックネットワーク(英語): [www.trafficj.org](http://www.trafficj.org)  
ワシントン条約事務局(英語): [www.cites.org](http://www.cites.org)

**TRAFFIC**  
the wildlife trade monitoring network

トラフィック イーストアジア ジャパン  
(略称: トラフィックジャパン)  
TEL: 03-3769-1716 E-mail: [traffic@trafficj.org](mailto:traffic@trafficj.org)

トラフィックジャパンの  
ここに注目！

日本がはじめて  
附属書掲載を提案！

## 第16回ワシントン条約締約国会議 in バンコク(タイ)

日本の固有種が附属書掲載提案にあがっています。

3月3日～14日、第16回ワシントン条約締約国会議がタイのバンコクで開催されます。トラフィック イーストアジア ジャパンは、締約国会議に向けて数回のシリーズでワシントン条約関連情報を各マスメディア関係者の方々に配信することになりました。会議に関する正確な情報の入手や取材にお役立てください。また、ご不明な点や詳細に関してはトラフィックまでお問い合わせください。

今回の会議では、日本にとって大きなニュースがあります。ワシントン条約締約国としての日本の歴史において、はじめて附属書改正提案を提出していることです。(33年間で初！)

提案  
34リュウキュウヤマガメ *Geoemyda japonica*

★日本政府による提案！★

野生個体の輸出割当量を0（ゼロ）、という条件付きで附属書Ⅱに掲載

リュウキュウヤマガメ *Geoemyda japonica*

©トラフィックイーストアジアジャパン



種： カメ目 Testudines  
イシガメ科 Geoemydidae  
分布：世界で沖縄島、渡嘉敷島、久米島のみ  
生態：地上性で、溪流沿いなどの湿潤な林床に生息する。雑食性で植物の芽や実、ミミズ、昆虫、陸生貝類などを食べる。産卵数は1度に1個から場合により2個だとみられている。

## 保全状況

IUCN レッドリスト：絶滅危惧種（EN）

日本のレッドリスト：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

文化財保護法：1975年天然記念物に指定  
捕獲や移動、取引するには許可が必要で、  
今まで商業取引への許可は出されていません。

## 用途

調査の結果、日本の法規則で保護されているにもかかわらず、海外で、ペットとしての利用（市場）が見つかりました。

## 脅威

生息地域の土地利用変化、あるいは違法捕獲などで種の存続が懸念されています。

## 海外における日本の生き物の市場とは？

日本の南西諸島には、世界でもそこにしか生息しない様々な固有の生き物が生息しています。

トラフィックは、南西諸島に固有の爬虫類について中国で市場調査をおこないました。その結果、国の天然記念物であるリュウキュウヤマガメ *Geoemyda japonica* のほか、ヤエヤマセマルハコガメ *Cuora flavomarginata evelynae*、クロイワトカゲモドキ *Goniurosaurus kuroiwae*、キシノウエトカゲ *Plestiodon kishinouyei* などの複数の販売/オンライン取引が確認されました。

中国で販売されていたリュウキュウヤマガメの原産国が「日本産」と示されていたり、中には野生採取と明記されたものもありました。

今まで日本は、野生生物の輸入国として位置づけられていました。附属書に掲載されている種の中には、日本の需要がその取引構造を大きく左右しているものも少なくありません。

しかし、今回の日本の提案は、日本固有種が海外の市場に提供されることについて、モニタリングを強化したい、という提案です。つまり輸出国としての立場で、提案を出しました。

アジア各国の経済的な台頭により、世界的な野生生物取引の構造も変化しています。今回の提案も、そのような流れの一つの象徴といえるかも知れません。

## トラフィックは 提案に賛成

締約国会議での討議の後、採決し、投票国の3分の2以上の多数があれば採択されます。

トラフィックジャパンの  
ここに注目！

日本がはじめて  
附属書掲載を提案！

詳しくはウェブで！

CoP16 特集ページ→ <http://www.trafficj.org/cop16/>

関連ウェブサイト

トラフィックネットワーク(英語)： [www.traffic.org](http://www.traffic.org)  
ワシントン条約事務局(英語)： [www.cites.org](http://www.cites.org)

**TRAFFIC**  
the wildlife trade monitoring network

トラフィック イーストアジア ジャパン  
(略称：トラフィックジャパン)

TEL:03-3769-1716 E-mail: [traffic@trafficj.org](mailto:traffic@trafficj.org)

## 第16回ワシントン条約締約国会議 in バンコク(タイ)

多数のカメの附属書掲載が提案されています。

3月3日～14日、第16回ワシントン条約締約国会議がタイのバンコクで開催されます。トラフィック イーストアジア ジャパンは、締約国会議に向けて数回のシリーズでワシントン条約関連情報を各マスメディア関係者の方々に配信することにして参ります。会議に関する正確な情報の入手や取材にお役立てください。また、ご不明な点や詳細に関してはトラフィックまでお問い合わせください。

カメの波が来ています！

多数のカメの附属書掲載が提案されています。

初提案の日本\* はじめ、米国、中国、ベトナムから、カメだけで11の提案が出されています。(ひとつの提案に複数の種が挙げられている場合も)  
提案されているカメの中には、日本が取引に深く関わっている種が少なくありません。

議論の行方に注意が必要です。

\* 日本の提案については前号 No.2 を参照

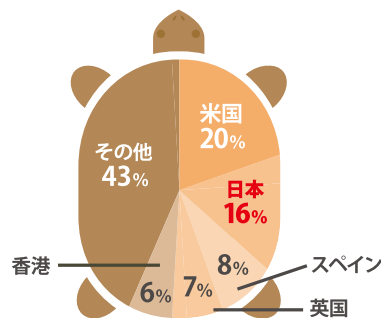
日本のカメ取引の状況は・・・

日本はカメ輸入大国。たとえばリクガメ科をみると、世界でも有数の輸入量で、輸出量と比較しても格段に多い。

世界の生きたリクガメ(リクガメ科)

輸入頭数-2007年-

出典: CITES trade statistics derived from the CITES Trade Database, managed by UNEP-WCMC, received from E. White, UNEP-WCMC, in litt., 24 June 2010.



日本のリクガメ(リクガメ科)

輸出/輸入頭数(合計)

-2005～2009年-

経済産業省: ワシントン条約年次報告書 (2005～2009)

● マッコードナガクビガメ *Chelodina mccordi*

インドネシアと東ティモールの限定的ないくつかの島にしか生息しない。

提案  
28

©Chris R. Shepherd/TRAFFIC

IUCN レッドリスト (2012): 近絶滅種 (CR)

日本をはじめとする愛好家のペット需要などが理由で、野生から捕獲されています。2000年代初頭に種として発見されたときにはすでに絶滅に瀕した状態で、すぐに附属書Ⅱに掲載されました。いまだに取引の脅威が続いているため、今回、附属書Ⅰへ移行する提案が出されています。(提案国: 米国)

トラフィックは 提案に賛成

● ビルマホシガメ *Geochelone platynota*

ミャンマー固有の種。

提案  
37

©Mark Auliya/TRAFFIC

IUCN レッドリスト (2012): 近絶滅種 (CR)

日本でも模様のきれいなホシガメとして人気が高いカメ。野生の生息の状態が危惧されています。毎年、数百から数千の個体が取引されていることなどから、附属書Ⅰへの掲載が提案されています。(提案国: 米国)

トラフィックは 提案に賛成

## ● スッポン科 Trionychidae

スッポン科の10種が提案にあがっています。

提案  
38

アジアのスッポン科のカメは、主に中国での食用、伝統薬、ペットとしての需要のために大量に取引されています。

類似種の問題もあり、8種が附属書Ⅱへの掲載、すでに附属書Ⅱに掲載されている2種は、絶滅のおそれや違法取引の継続の懸念から附属書Ⅰへの移行が提案されています。

(提案国: 米国、中国)

トラフィックは 提案に賛成

詳しくはウェブで！

CoP16 特集ページ → <http://www.trafficj.org/cop16/>

関連ウェブサイト

トラフィックネットワーク(英語): [www.traffic.org](http://www.traffic.org)  
ワシントン条約事務局(英語): [www.cites.org](http://www.cites.org)

**TRAFFIC**  
the wildlife trade monitoring network

トラフィック イーストアジア ジャパン  
(略称: トラフィックジャパン)

TEL: 03-3769-1716 E-mail: [traffic@trafficj.org](mailto:traffic@trafficj.org)

## 国際取引されるカメたちの抱える問題点

## 『類似種の問題』

異なる種でも姿が似ていて、種として見分けが付きにくい。

## ワシントン条約執行上の対策

- 識別マニュアルの作成
- 見分けのつかない種も附属書へ掲載して管理

ワシントン条約では、生物を種ごとに管理しているため、種が適切に識別される必要があります。

## 『ロンダリング問題』

野生で捕獲した種を「飼育繁殖個体」として取引をする。

飼育繁殖された個体への規制や監視が緩やかになることを悪用して、規制を逃れるケースが散見されています。しかしカメには、飼育下での繁殖が簡単ではない種も多いことが知られています。

出所を明らかにできるような措置が求められています！

爬虫・両生類  
多数の提案提案  
23～41

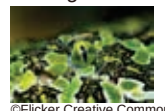
カメ類 40 種以上のほか、

## ● ワニ類

アメリカワニ  
*Crocodylus acutus*  
イリエワニ  
*Crocodylus porosus*  
シャムワニ  
*Crocodylus siamensis*

## ● ヤモリ、ヘビ

ミドリヤモリ属全種  
*Nautinus* spp.  
クサリヘビ科のヘビ  
*Protobothrops mangshanensis*



©Flicker Creative Commons

## ● カエル

ヤドクガエル科のカエル  
*Epipedobates machalilla*  
カモノハシガエル  
*Rheobatrachus silus*  
キタカモノハシガエル  
*Rheobatrachus vitellinus*

などについての議論が予定されています。

トラフィックジャパンの  
ここに注目！

爬虫類・両生類は  
日本と深い関わりが

## 第16回ワシントン条約締約国会議 in バンコク(タイ)

サメ類を含む水産種に関する7つの提案が提出されています。

3月3日～14日、第16回ワシントン条約締約国会議がタイのバンコクで開催されます。トラフィック イーストアジア ジャパンは、締約国会議に向けて数回のシリーズでワシントン条約関連情報を各マスメディア関係者の方々に配信することにして参ります。会議に関する正確な情報の入手や取材にお役立てください。また、ご不明な点や詳細に関してはトラフィックまでお問い合わせください。

## サメの危機！

日本からも世界中に乾燥フカヒシが輸出されています。

サメの利用、といえはフカヒシを思い浮かべる方も少なくないと思います。フカヒシの国際需要は高く、過剰な漁獲が懸念されています。

ヒシの他にも、肉がフィッシュ&amp;チップスに利用されたり、サプリメント、肝油としての利用もあり、長年にわたり取引の対象となっています。

マグロ漁業における混獲も大きな問題です。

日本からも世界中に乾燥フカヒシが輸出されています。

出典：財務省 貿易統計—2000～2009—

日本の乾燥したフカヒシの輸出量(2000-2009) (kg)

| 国/地域       | 2000    | 2001    | 2002    | 2003    | 2004    | 2005    | 2006    | 2007    | 2008    | 2009    | 小計<br>(2000-2009) |
|------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-------------------|
| 香港         | 203,113 | 188,408 | 146,010 | 158,851 | 173,529 | 144,418 | 161,990 | 175,135 | 134,565 | 112,009 | 1,598,028         |
| シンガポール     | 22,401  | 13,463  | 29,172  | 18,544  | 18,180  | 2,562   | 13,146  | 19,369  | 13,097  | 16,307  | 166,241           |
| 中国         | 14,808  | 25,389  | 31,491  | 41,421  | 11,558  | 12,906  | 600     | 270     | 3,800   |         | 142,243           |
| 南アフリカ共和国   |         |         |         |         | 290     | 5,445   | 214     |         | 4,313   | 18,034  | 22,561            |
| インドネシア     |         |         |         |         |         |         |         |         | 2,349   | 8,096   | 16,180            |
| ベトナム       |         |         |         |         |         |         | 1,776   | 1,638   | 3,141   | 1,941   | 8,496             |
| カナリア諸島(西)  |         |         | 411     |         |         | 1,309   |         |         | 984     | 4,119   | 6,823             |
| スペイン       |         |         |         |         | 570     | 800     | 2,376   |         | 407     | 1,500   | 5,653             |
| マレーシア      | 500     | 2,897   |         |         |         |         |         |         |         |         | 3,397             |
| ウルグアイ      |         |         |         |         |         |         |         |         | 1,840   |         | 1,840             |
| 台湾         | 260     |         | 135     | 788     | 186     | 150     | 250     |         |         |         | 1,769             |
| グアム(米)     | 215     | 172     | 297     | 12      | 184     | 126     | 161     | 188     | 162     | 92      | 1,609             |
| 北マリアナ諸島(米) |         |         | 40      | 125     | 177     | 81      | 41      |         |         |         | 464               |
| コンゴ共和国     | 400     |         |         |         |         |         |         |         |         |         | 400               |
| オーストラリア    | 175     |         |         |         |         |         |         |         |         |         | 175               |
| カナダ        |         | 120     |         |         |         |         |         |         |         |         | 120               |
| タイ         |         |         | 50      |         |         |         |         |         |         |         | 50                |
| 北朝鮮        |         |         | 20      |         |         |         |         |         |         |         | 20                |
| 合計         | 241,872 | 230,449 | 207,626 | 219,741 | 204,674 | 167,797 | 180,554 | 196,600 | 162,818 | 163,938 | 1,976,069         |

● ヨゴレ *Carcharhinus longimanus*

IUCNレッドリスト(2012): 危急種(VU)

提案  
42

© naturepl.com / Doug Perrine / WWF-Canon

附属書Ⅱ(注釈付)への掲載が提案されています。

提案国: ブラジル、コロンビア、米国

脅威: 特にヒシに対する高い国際需要があり、分布域全体で捕獲/混獲されたものが取引されています。

トラフィックは 提案に賛成

IUCNレッドリスト(2012):

● アカシュモクザメ *Sphyrna lewini* 絶滅危惧種(EN)● ヒラシュモクザメ *Sphyrna mokarran* 絶滅危惧種(EN)● シロシュモクザメ *Sphyrna zygaena* 危惧種(VU)提案  
43

© naturepl.com / Doug Perrine / WWF-Canon

附属書Ⅱ(注釈付)への掲載が提案されています。

提案国: ブラジル、コロンビア、  
コスタリカ、エクアドル、  
ホンジュラス、メキシコ、  
デンマーク(EUを代表して)

脅威: 集団行動により漁業の標的になりやすく、捕獲/混獲されたもののうち、肉もヒシも国際取引の対象となっています。

トラフィックは 提案に賛成

トラフィックは 種の識別の難しさから、類似している種の掲載検討も進めるように推奨しています。

類似している種:

*Eusphyrna blochii*, *Sphyrna corona*, *Sphyrna media*,  
*Sphyrna tiburo*, *Sphyrna tudes*

## その他の水産種 提案

45～48

● ラージトウス・ソーフィッシュ  
*Pristis microdon*● オニイトマキエイ属全種  
*Manta spp.*● ポタモトリゴン科のエイ類  
*Paratrygon aiereba*,  
*Potamotrygon motoro*,  
*Potamotrygon schroederi*

詳しくはウェブで！

CoP16 特集ページ → <http://www.trafficj.org/cop16/>

関連ウェブサイト

トラフィックネットワーク(英語): [www.trafficj.org](http://www.trafficj.org)  
ワシントン条約事務局(英語): [www.cites.org](http://www.cites.org)

**TRAFFIC**  
the wildlife trade monitoring network

トラフィック イーストアジア ジャパン  
(略称: トラフィックジャパン)

TEL: 03-3769-1716 E-mail: [traffic@trafficj.org](mailto:traffic@trafficj.org)● ニシネズミザメ *Lamna nasus*

IUCNレッドリスト(2012): 危急種(VU)

提案  
44

© naturepl.com / Doug Perrine / WWF-Canon

附属書Ⅱ(注釈付)への掲載が提案されています。

提案国: ブラジル、コモロ、エジプト、  
クロアチア、  
デンマーク(EUを代表して)

脅威: 肉の需要が非常に高く、それよりは少ないヒシの需要もあり、いずれも取引の対象となっています。

※長年の捕獲により、北大西洋の漁場は枯渇し、閉鎖された程。

トラフィックは 提案に賛成

トラフィックは、1990年代中頃より、サメ漁業と国際取引をモニタリングする管理措置の導入をFAO(食糧農業機関)やCITES(ワシントン条約)、RFMO(地域漁業管理機関)に求めています。

サメ類は、成長や性的成熟が遅く、一般的に過剰な漁獲に脆弱です。にも関わらず、漁獲や取引の情報が非常に不足しているのが現状です。

このままでは、「気がついたら資源が枯渇してた」ということが起きてしまうかもしれません。

トラフィックジャパンの  
ここに注目！

水産種の  
過剰漁獲に対策を！

## 第16回ワシントン条約締約国会議 in バンコク(タイ)

植物に関する21の提案が提出されています。

3月3日～14日、第16回ワシントン条約締約国会議がタイのバンコクで開催されます。トラフィック イーストアジア ジャパンは、締約国会議に向けて数回のシリーズでワシントン条約関連情報を各マスメディア関係者の方々に配信することにして参ります。会議に関する正確な情報の入手や取材にお役立てください。また、ご不明な点や詳細に関してはトラフィックまでお問い合わせください。

## さまざまな植物、日本との関わり

出典：トラフィック：私たちの暮らしを支える世界の生物多様性

日本は、「薬用・アロマティック植物の輸入」では世界第4位  
(2007年時点-UN Comtrade データベースより、HSコード1211で調べたもの)

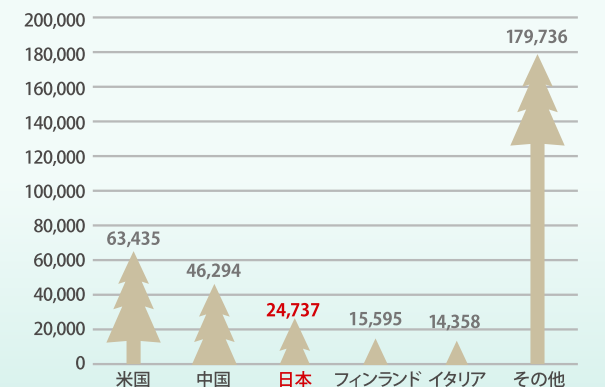
## 薬用・アロマティック植物(HSコード:1211)の輸入(2007年)

| 輸入国  | 輸入量 (kg)   | 輸入金額 (米ドル)  |
|------|------------|-------------|
| 米国   | 67,387,437 | 247,601,384 |
| 香港   | 50,324,804 | 179,050,628 |
| ドイツ  | 47,176,771 | 154,250,000 |
| 日本   | 28,431,569 | 117,981,544 |
| 韓国   | 33,294,613 | 55,416,669  |
| 中国   | 19,327,106 | 34,582,744  |
| フランス | 18,380,625 | 80,009,985  |
| スペイン | 15,711,003 | 51,309,122  |

HSコード1211：主として香料用、医療用、殺虫用、殺菌用その他これらに類する用途に供する植物及びその部分（種及び果実を含み、生鮮のもの及び乾燥したものに限り、切り、砕き又は粉状にしたものであるかないかを問わない）

「木材の輸入」においては、世界第3位  
(2006年時点-FAO データベースより、トラフィックが算出したもの)

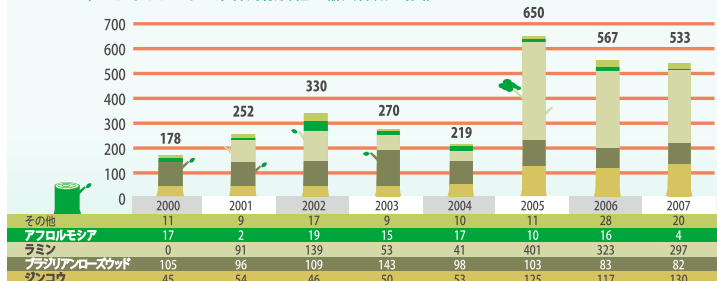
## 世界の木材輸入(単位:1000m³) (2006年)



算出：Industrial roundwood, Sawnwood, Wood-based panels を合計したもの

## 日本は、ワシントン条約対象の木材種についても、重要な輸入国

## 日本によるワシントン条約対象樹種の輸入件数の推移



ラミン、ブラジルアンローズウッドの輸入量は、他国と比較してもトップクラス

アフロモシア *Pericopsis elata*：家具や床材などに使われる

ラミン 4 種：額縁や玩具などの材料

ブラジルアンローズウッド *Dalbergia nigra*：楽器などに利用される

ジンコウ *Aquilaria* spp.：香木

## 植物の持続可能な利用に向けて

取引により絶滅のおそれがある植物種をワシントン条約で規制するほか、野生植物の持続可能でフェアな利用を実施するための「フェアワイルド」という基準があります。

フェアワイルド基準は、ワシントン条約のNDF(有害ではないという所見)の実施にも活用されています。生態学的に「この種は、毎年このくらいなら採集しても良い」という持続可能なレベルを決める手法の一つとして役立てられています。

フェアワイルドについて

詳しくはこちらから ↓

<http://www.trafficj.org/theme/medicinal/fairwild/>



詳しくはウエブで！

CoP16 特集ページ → <http://www.trafficj.org/cop16/>

関連ウェブサイト

トラフィックネットワーク(英語)： [www.trafficj.org](http://www.trafficj.org)  
ワシントン条約事務局(英語)： [www.cites.org](http://www.cites.org)

**TRAFFIC**  
the wildlife trade monitoring network

トラフィック イーストアジア ジャパン  
(略称：トラフィックジャパン)

TEL:03-3769-1716 E-mail: [traffic@trafficj.org](mailto:traffic@trafficj.org)

日本も関わりの深い  
植物種

②へつづく

## 第16回ワシントン条約締約国会議 in バンコク(タイ)

植物に関する21の提案が提出されています。

3月3日～14日、第16回ワシントン条約締約国会議がタイのバンコクで開催されます。トラフィック イーストアジア ジャパンは、締約国会議に向けて数回のシリーズでワシントン条約関連情報を各マスメディア関係者の方々に配信することにして参ります。会議に関する正確な情報の入手や取材にお役立てください。また、ご不明な点や詳細に関してはトラフィックまでお問い合わせください。

● フーディア属 *Hoodia* spp.IUCNレッドリスト(2012):  
3種が掲載: 低危険種 (LC)提案  
52

©Martin Heigan, Flicker, Creative Commons



すでに附属書Ⅱに掲載されています。  
※注釈をより明確にし、取引規制の除外となる製品を規定するための提案。  
提案国: ボツワナ、ナミビア、南アフリカ

生育地であるアフリカ南部で薬用目的で採取されるほか、食欲抑制機能を持つ薬用植物として商業的価値があるとされています。ダイエット食品などに利用されています。

トラフィックは 提案に賛成

● ローズウッド (ボアドローズ) *Aniba rosaeodora*

IUCNレッドリスト(2012): 絶滅危惧種 (EN)

提案  
59

すでに附属書Ⅱに掲載されています。 提案国: ブラジル  
※注釈をより明確にするための提案。

精油などが採取され、アロマオイルなど香料などとして利用されています。

ただし、  
注釈に文を追加することを推奨しています。

● チョウセンニンジン *Panax ginseng*● アメリカニンジン *Panax quinquefolius*提案  
53

一部がすでに附属書Ⅱに掲載されています。 提案国: 米国  
※注釈をより明確にし、取引規制の除外となる製品を規定

両種とも、根が薬用に利用されます。日本でも漢方薬などとして利用されています。

トラフィックは 提案に賛成

● *Osyris lanceolata* (ビャクダン科の植物)提案  
69

附属書Ⅱへの掲載が提案されています。 提案国: ケニア

東アフリカの生育地では、木材、燃料のほか薬用として利用されています。根や幹、枝が精油の用いられるため、木が引き抜かれています。

基準を満たすほど、生育が脅かされてはいないため、

トラフィックは 提案に反対

● アクイラリア属 (ジンコウ) *Aquilaria* spp.● ギリノプス属 *Gyrinops* spp.提案  
70

©James Compton / TRAFFIC



すでに附属書Ⅱに掲載されています。  
※規制を除外される形態について規定する注釈を、具体例とともに掲示し、法執行を簡素化するための提案。

提案国: 中国、インドネシア、クウェート

高級な香料として利用されています。日本も香の原料など古くから利用しています。

トラフィックは 提案に賛成

ただし、  
形態についての識別において、法執行官が直面しそうな問題と取り組む必要があるため、条件を付けることを推奨しています。

## ワシントン条約の取組み

## 識別とトレーニング

特に木材種は識別が難しく、特別の方法が必要です。法執行がおこなえるように、識別ガイドなども提供されています。



©トラフィックイーストアジアジャパン

野生?栽培?  
その定義と管理

植物の中には、野生から採集され利用されるものも多い一方、栽培されて利用されるものが混じる種もあります。  
野生の植物を守るため、栽培品をどのように見分け、管理するかについては、附属書に掲載された後も、議論、検討が引き続きおこなわれています。

原料から最終製品まで  
どこが規制対象?

植物は多様な形態で取引されます。  
条約では、野生の原産地(その種が伐採・採集される地)から、最初の製品(原料)を管理することに重点がおかれます。  
法執行の効率なども考慮して、注釈や決議などによって管理すべき製品形態などが具体的に定められます。

## どの部位が利用される?

植物体のどの部分が主に利用されるかによって、種の存続に対するダメージは異なります。  
根や幹の内側、樹皮などが採集されるものと、花や葉などが採集されるものでは、脅威の度合いは変わります。  
利用、取引の管理も異なります。

詳しくはウェブで!

CoP16 特集ページ → <http://www.trafficj.org/cop16/>

関連ウェブサイト

トラフィックネットワーク(英語): [www.traffic.org](http://www.traffic.org)  
ワシントン条約事務局(英語): [www.cites.org](http://www.cites.org)

**TRAFFIC**  
the wildlife trade monitoring network

トラフィック イーストアジア ジャパン  
(略称: トラフィックジャパン)

TEL: 03-3769-1716 E-mail: [traffic@trafficj.org](mailto:traffic@trafficj.org)

トラフィックジャパンの  
ここに注目!

多くの植物種が  
条約対象(動物の  
5倍!)